

日野市観光協会だより

第28号 (平成29年12月発行)

特定非営利活動法人 日野市観光協会
<http://www.shinsenhino.com/>



ごあいさつ

セイコーエプソン株式会社
総務部部长 山本 敏之

現在のセイコーエプソン日野事業所の所在地は、そのルーツを辿ると、昭和11年にオリエント時計の前身、吉田時計店の直屬腕時計工場として竣工したところから始まります。当時の工場は、時計台が印象的な白亜の建物で、1 km 離れた日野駅から浮き上がるように見えたそうです。その後、戦時中の軍需産業への転換、戦後の業績悪化に伴う閉鎖を経て、昭和25年に多摩計器として操業を開始。昭和26年にはオリエント時計と改称し、長年この地で親しまれてきました。そして、平成10年からはセイコーエプソン日野事業所となり、現在に至ります。

現在のセイコーエプソン日野事業所は、セイコーエプソンと関連会社のエプソン販売の2社が入居しており、約1,200名の従業員が働いています。主な業務内容はエプソンブランド製品の営業や管理業務およびお客様サポートやウェアラブル機器

の修理センター等、お客様と直接つながりをもつ業務を中心に事業活動を行っています。

このように、セイコーエプソン日野事業所はお客様と直結した事業活動を行っていますが、日野市や近隣住民の皆様と連携した事業所運営にも注力しています。毎年7月には、近隣自治会の代表者の方を事業所にお招きして情報交換会を行い、事業活動の状況をお伝えするとともにご意見を賜り、事業所運営の参考とさせていただいている他、事業所敷地内で開催する納涼祭に近隣の皆様にご来場いただき、お祭りを楽しんでいただきながらエプソンの製品や取り組みを紹介する場を設け、地域の皆様との良好な関係の構築に努めています。

また、日野市サッカー連盟に協力して実施している『エプソンカップフットサル大会』は、昨年、第10回の記念大会が無事開催され、今年度も継続して開催する予定であります。

セイコーエプソン日野事業所は、これからも地域の皆様と連携した活動を継続し、更なる貢献ができるよう、地域に根差した事業所活動を行ってまいります。

川澄祐勝前理事長の功績



観光協会の前理事長であられました 高幡山金剛寺貫主 川澄祐勝様が平成29年10月10日にご逝去されました。享年87歳。

川澄祐勝様におかれましては平成17年6月に理事長に就任され、平成18年度には日野市観光協会の法人化に大変なご尽力を頂きました。また、日野市まちおこし連絡協議会の会長として日野の三拠点のまつり（日野新選組まつり、ひのよさこい祭り、たかはたもみじ灯路）を軸に各地区のまちおこしと観光事業の発展に貢献されました。

ご葬儀は密葬にて10月17日（通夜）、18日（告別式）に行われました。

本葬儀につきましては、来年3月16日（金）に執り行われます。

ご冥福を心よりお祈りいたしますと共に、当協会への長年にわたる多大なるご指導に対し、深く御礼申し上げます。

第17回ひのよさこい祭開催

今年も恒例のひのよさこい祭が、7月30日（日）に盛大に開催されました。

昨年から会場に加わった、豊田南口会場も更に盛り上がり、豊田駅北口、南口とともに、大勢のよさこいを見るお客様で溢れかえっていました。

商店会内の飲食店や模擬店、大型店も大賑わい、お客様と踊り子でごった返すような状態。まち中が一日を通して笑顔と熱気に包まれていました。恒例のTOYODAビールも飛ぶように売れ、売り切れ御免となりました。

（まつり推進部）



曼珠沙華が百万本となる日まで

お蔭様で皆さまがお持ち下さった曼珠沙華の球根は、十二万二千個となり植栽も完了しています。九月の初旬から咲き出す花もあり秋彼岸のあける頃迄楽しめました。年々球根が育ちますので十年後位には百万本の曼珠沙華を皆さんに楽しんでいただけるようになると思います。

今後益々お力添えの程御願い申し上げます。

（高幡不動尊金剛寺）



第47回 高幡不動尊菊まつり



第47回高幡不動尊菊まつりが10月28日(土)～11月17日(金)まで開催されました。

日野をはじめとする多摩地域の菊愛好会の作品を多くのお客様に観賞していただき、大変盛況裡に終わりました。(菊まつり部)

◀内閣総理大臣賞 和田益男さん(八王子)

今年の菊作りは、私も経験したことのない、悪気象の環境での栽培でありましたが、幸運にも大臣賞を受賞でき光栄でした。

大会会長賞 松崎隆一さん(八王子)▶

参加させてもらい6年目、皆様方のご指導がようやく実り花が咲き始めました。さらなる努力をつみかさねて行きたいと思います。



第51回日野市産業まつり



新たな歴史を刻む第51回日野市産業まつりが11月11日(土)12日(日)に好天に恵まれ市民の森ふれあいホール周辺で盛大に開催されました。今年は陸上競技場内でダンスファスタや国登録有形文化財「桑ハウス」の公開等が開催され、特に若い親子連れが散見されました。都市間ブースでは日野市観光協会スタッフが会津若松市、岩手県紫波町、東京都八丈島の物品販売を手伝い、都市間の交流も盛んに行われました。日曜日には紫波町の議員団が来場され視察をされていました。また、スーパーボールすくいや高幡もみじ灯路のチラシ等を配布しました。(事業部)

日帰り研修

9月22日(金)

今回、研修部会は「日本の文化に触れる」をテーマに企画を致しました。

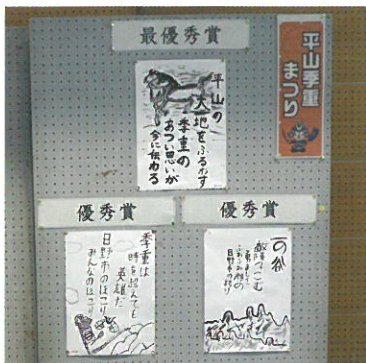
身近にある高幡不動尊様にご協力をいただき、日頃出来ない写経やお茶の体験をしました。心を落ち着けて何かに集中することが少ない昨今、貴重な経験が出来ました。

五重塔の下をお借りし、まず硯で墨を摺るところから始めました。日頃、ボールペンで慣れていますので筆圧が難しく、緊張の時間でした。その後のお茶会は、大日堂横のお茶室をお借りし、裏千家の先生のご指導の下、皆でお茶を一服。慣れないながらも「結構なお手前」との声が連発。「もう一服いかがですか?」と聞かれると、2、3人が手を挙げ、結局全員がお代わりしました。



また、2年前に植えた曼珠沙華の観賞は、10万株以上の花が植えてあり、赤の中に白や黄色も混ざって綺麗な光景でした。まだまだ株分けし、花が密集してくれば素晴らしい赤いジュータンとなることでしょう。(研修部)

すえしげ 第12回 平山季重まつり



平山季重^{すえしげ}は今から約860年前に活躍した、平山出身の武将です。源朝の父の代から源氏に仕えました。1185年の義経率いる「一の谷の戦い」で平山季重^{すえしげ}と熊谷直実^{なおざね}の先陣争いの武勇は「平家物語」に書かれており、歌舞伎や文楽の題材となっています。地元の平山小学校では10月15日(日)に平山季重まつり^{すえしげ}が開催され、雨ではありましたが多くの方が訪れ、武将隊や紙甲冑作り、平山季重^{すえしげ}にまつわる短歌など各種のイベントで盛り上がっていました。

(まつり推進部)

伸びゆく日野市写真コンクール作品募集

新たな「ひの」の魅力をアピールする写真をご応募下さい。平成29年1年間に日野市内(大成荘周辺も含む)で撮られた作品が対象です。平成30年1月12日応募締め切り。

詳しくは要項をご覧頂くか、事務局にお問い合わせ下さい。



日野のなにそれ

日野に煉瓦工場があったのを知っていますか。

甲武鉄道(現在のJR中央線)は明治22年4月に新宿、立川駅間が開通しましたが、多摩川を越える橋を作るには日野で煉瓦を作ることが必要との考えから、日野宿の土渕英・高木吉造・河野清助により日野煉瓦工場が明治21年に作られました。煉瓦は多摩川を渡る橋台以外にも日野用水などにも使われました。

125年の歳月を経た今も私たちを乗せた電車が日野煉瓦の鉄橋を渡っています。先人の業績に感謝とロマンを感じませんか。

これからの行事予定

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1月1日(月)~7日(日) | 日野七福神めぐり
(市内7ヶ寺) |
| 2月3日(土) | 節分会(高幡不動尊) |
| 2月上旬~3月中旬 | 京王百草園梅まつり |
| 2月下旬又は3月上旬 | 会員研修会 |

日野市観光協会の歩み 1958年(昭和33年)、日野町・七生村が合併し都立多摩動物公園が開園した年に日野観光協会として発足しました。1987年(昭和62年)日野観光協会から日野市観光協会へと名称を変更し、2006年(平成18年)3月28日に「特定非営利活動法人」の認可を受けました。その間、「菊まつり」「新選組まつり」をはじめ多くの事業を実施し2005年(平成17年)には事務局を「日野宿本陣」の敷地内に移転しました。

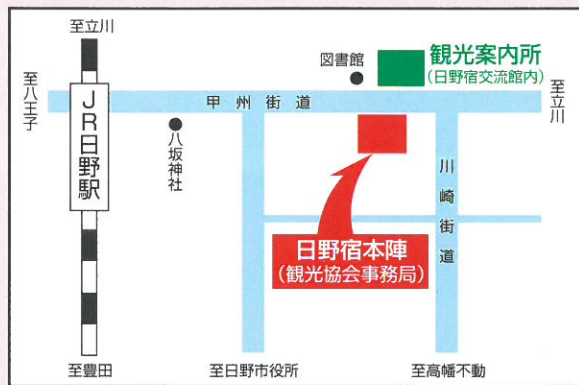
バナー広告主募集

現在、日野市観光協会ではバナー広告主を募集しております。ぜひご検討ください。

(サイド月額 会員2,500円 一般5,000円)

特定非営利活動法人日野市観光協会 事務局

9:00AM ~ 5:00PM (月曜定休)
〒191-0011 東京都日野市日野本町 2-15-9
TEL(042)586-8808 FAX(042)586-8961
E-mail info@shinsenhino.com



会員募集

特定非営利活動法人日野市観光協会では会員を募集しています。日野市の観光や新選組、その他のイベント等に興味のある方の入会をお待ちしています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

編集後記

師走に入り会員皆様は日々多忙な毎日ではないでしょうか。「日野市観光協会だより」がマンネリ化しないように、前回の第27号から新たに「日野のなにそれ」を掲載して甲州街道を取り上げました。会員の皆様から沢山情報をいただき「日野市観光協会だより」を広報部のみではなく、会員の皆さんと一緒に作っていきたく思いますのでご協力をお願いいたします。(K)